

一般質問通告書

受領日時 令和4年11月28日 午前10時10分

8番 氏名 畑澤洋子

質問項目	質問の要旨
1 9価HPVワクチンの定期接種化に対応を	<p>(1) 積極的勧奨再開に伴い個別勧奨及びキャッチアップ事業も開始した。通知を受け取った方からの問い合わせ、反応等があったか。今年度の接種者数、接種後の体調に関する問い合わせ等があったか。</p> <p>(2) 積極的勧奨再開時、2価・4価HPVワクチン再開を郵送で知らせた対象者の中で、まだ接種していないが近々接種を予定している場合、「9価HPVワクチンが選択できるようになる」という事は、重要な情報になる。効果が90%以上あるとされるワクチンを選びたかったと後悔し、不利益をこうむることになる。9価ワクチンの情報追加と有効性・安全性などの情報を、漏れなく郵送にて再通知することを求める。</p> <p>(3) 任意接種だが男性用に4価HPVワクチンがある。男性特有の陰茎癌、肛門癌、尖圭コンジローマなどを予防できる。女性の子宮頸癌罹患数減少にもつながる。周知のために冊子やHPで情報発信してはどうか。</p>
2 急増する不登校！信頼を回復できる学びの場の拡充を	<p>(1) 2021年度に不登校だった全国の児童生徒の数は24万4940人で過去最多。しかも前年度に比べ25%の増加は前例がない。当町での現状はどうか。</p> <p>(2) 今年度の状況から来年の結果は、更に不登校数が増える予想。全国不登校新聞社の石井志昂代表理事は、避難が早ければ心の回復が早く進む。才能開花へ学びの場の拡充を訴えている。「自信を回復できる学びの場」と、そのための人材確保が必要だ。町では今後どのように対応するのか。</p>
3 出産・子育て応援交付金事業の対応の方向性について	<p>(1) 市町村の手上げに基づく任意事業となっているが、町ではコロナワクチン事業をはじめ繁忙を極めており、職員不足も生じている。残業も多いのが実情だ。出産・子育て応援交付金事業の実施は可能か。</p> <p>(2) 町では子育てのスタートラインとして極めて重要な出産前後から3歳未満の時期に対する支援の空白が大きい。出産・子育て応援交付金を活用した支援策をどうとらえているか。</p>